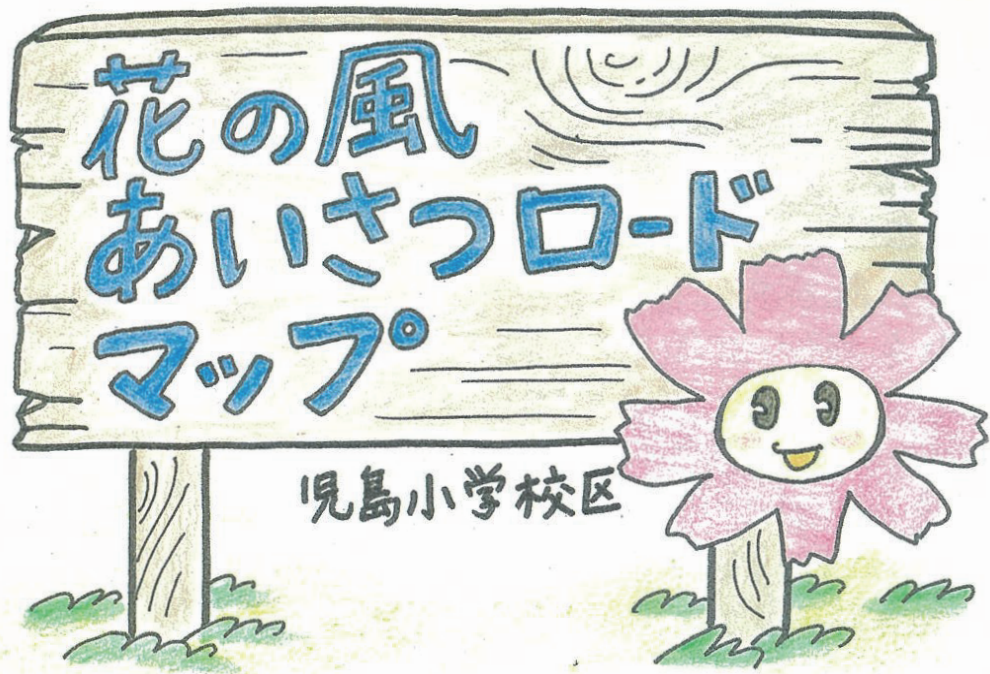




くらしき まち歩き さと歩き マップ

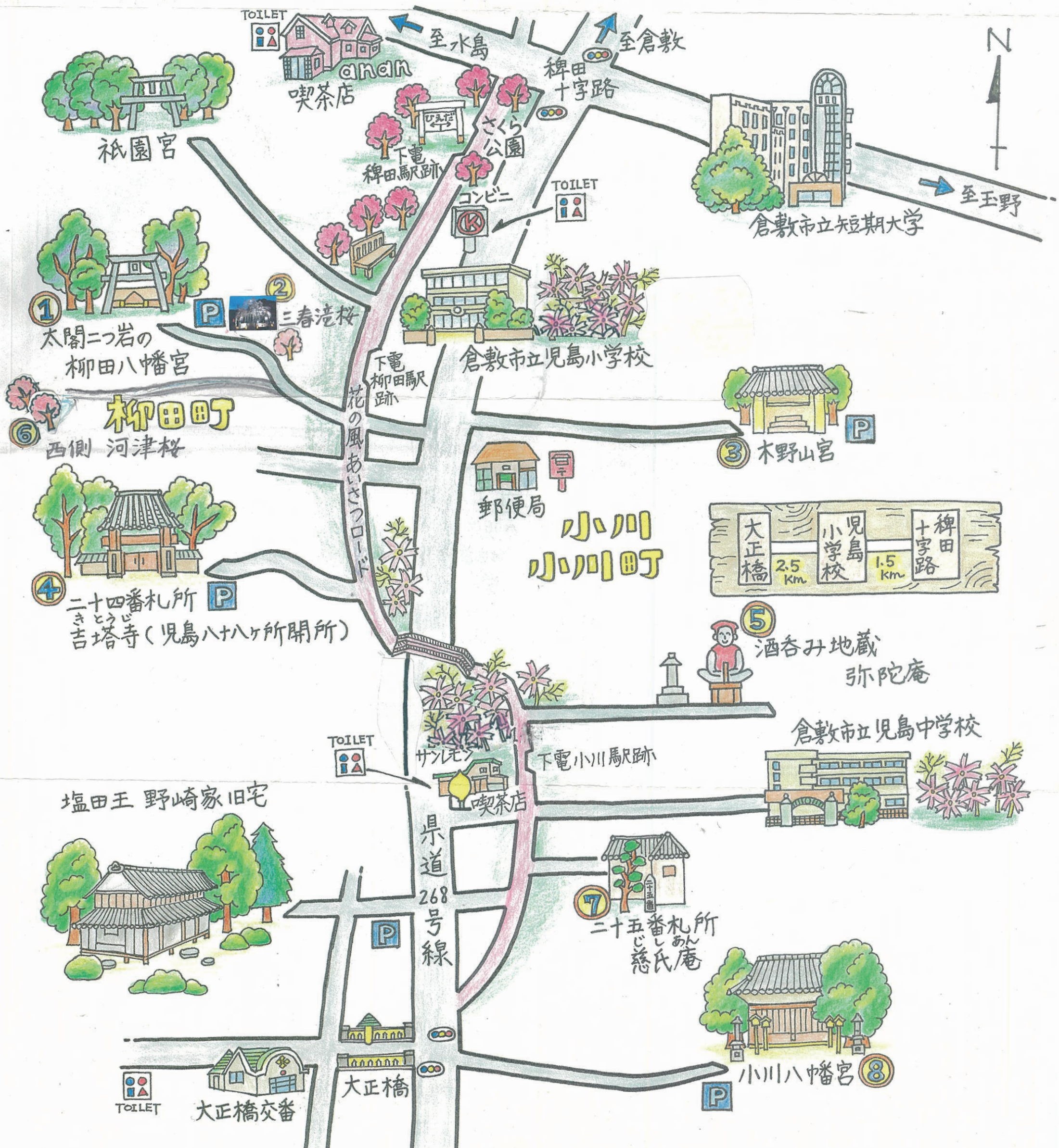
倉敷市児島地区児島地区

作成：児島地区愛育委員会

マリン児島地区社会福祉協議会

発行：倉敷市（平成31年1月改定）

早朝・薄暮・夜間は、反射材やたすきを身につけましょう！



花の風あいさつロード

かつての下津井電鉄軌道敷跡地で、「大正橋～稗田十字路間」約4km。いまは児島小学校区の貴重な財産となっており、通勤・通学・買い物散歩など、地域に密着した生活道として、愛されています。史跡が息つき、桜やコスモスなど季節の花が咲き行き交う人は、花の風を感じ、みんなが元氣よく「あいさつ」を交わすそんな素敵なウォーキング、散歩道としての「花の風あいさつロード」をめざしています。

またこの地域の各家庭にはコスモスがたくさん植えられ環境美化活動にも取り組んでいます。



① 柳田八幡宮

- 鳥居をあとに参道を進むと、左右は日中も暗く、深い森がある。岡山県は昭和56年3月、境内の森を郷土記念物に指定した。
- 創建は不明。応永年間(1394～1428)には、即ち金鎮座していた。
- 境内には仁徳天皇、天照大御神、神武天皇、水の神の龍神を祭る石が設けられている。幕末に、後ろの山上から現在地へ移転。



③ 木野山宮

- 坂を上ると、神社拝殿前の広場。大正天皇、昭和天皇の御大典(皇位継承)の際に行った記念植樹の石碑がある。
- 高梁市の木野山神社から迎えた神は、大山祇尊、豊玉彦命、大己貴命の三柱。三柱の神は山海、五穀豊穡、疫病退散。特にコレラの病に靈験あらたかとされた。

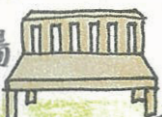


② 三春滝桜

- 柳田八幡宮にある日本三大桜の一つ。昭和60年4月福島県三春滝桜(枝垂桜)の苗木を譲り受け、植樹し奉納したもの。平成13年現在の参道脇に移植された。

⑥ 西側 河津桜

- 柳田西側地域の住民が地域の絆、一体感、醸成の一環として油池子ども広場に植樹。2月頃開花の早咲きで春の訪れを告げる木。



④ 吉塔寺

- 山門前に「児島霊場本願所」の碑がある。住職であった円明が、天保十年(1839)児島八十八ヶ所霊場を開いた。
- 本堂は二層の堂々たる建物で本尊は釈迦如来。
- 延暦年間(782～806)に坂上田村麻呂がこの寺の前身「長福寺」を堂の谷に創立したと伝える。後、寺伝では正徳六年(1716)現在地に移転とある。(児島二十四番札所)



⑤ 酒呑み地蔵

- 児島百番霊場の西国第五番弥陀庵の北隣りに地蔵堂がある。
- 堂内に石像が二体。右の石像が弘法大師の座像、左が地蔵菩薩。この左の地蔵は、酒呑み地蔵(別名は与平地蔵)とされ、節酒、禁酒にご利益があるとして、「酒断ち」を願う本人、家族らが酒を供えに訪れる。近年、受験シーズンには酒を携えた合格祈願の人々が絶え間なく訪れ、賑わいをみせています。



⑦ 慈氏庵

- 慈氏庵の北側は十字路になっていて、下津井へは西に、瑜伽みちは東に、まっすぐ行くと小川八幡宮の方へ向かう。
- 西南の角には、頭部が丸みを持つ四角柱に、「第二十五番」とある。これは慈氏庵が児島霊場の札所であることを示す。
- 「慈氏」とは弥勒菩薩の異称で、釈迦に代わって衆生を救う。



⑧ 小川八幡宮

- 応永8～9年(1401～2)創立。詳細由緒は、隨身門の額に。
- 参道入り口に大鳥居・唐獅子・燈籠が建っている。唐獅子の玉に乗る獅子、親子獅子はいずれも珍しい。
- 拝殿前には「天下泰平」「国家安全」と周りにつけた一対のしめ柱、同じく一対の唐獅子が見られます。